

中央アルプス空木岳

平成 26 年 9 月 12 日（金夜）～14 日（日） 晴れ 右田+友人 2 名

紅葉には少し早いのですが徐々に天気が良さそうなので、池山尾根から空木岳を登ることにした。金曜日夜 22 時に日生中央駅前に集合し、京都縦貫道経由で駒ヶ根インターに向かう。駒ヶ根インターから登山口の林道終点を目指すのが、生憎途中の駐車場で通行止め。午前 2 時半だが、すでに満車状態。何とか隙間を見つけて止めることができた。車中で仮眠し、5 時前にデコランを着けて出発する。途中、池山小屋前の水場で給水。連休で結構、登山者が多い。重くなったザックを担ぎ、樹林帯の中をひたすら上を目指す。このコースには、小地獄、大地獄と呼ばれる難所があるが、梯子や鎖が整備されており、問題はない。難所を過ぎれば後は樹林帯のコースをトラバース気味に行き、尾根に取り付き少し登れば、尾根コースと谷コースの分岐に到着する。見晴らしのよい尾根コースを取り、森林限界を越え、景色を楽しみながらしばらく登ると、巨大な花崗岩の駒石に到着。駒石から 40 分ほどで駒峰ヒュッテに到着。時刻は 11 時 30 分と余裕の到着。空木岳周辺は幕営禁止なので駒峰山岳会が運営しているこの小屋に泊まる。1 泊素泊まり 3,500 円と良心的。しかし、今日は連休初日とこのところの天候不順で登山客が集中し、相当混雑するようだ。早々と 2 階の一角にスペースを確保し、とりあえず頂上を目指す。小屋から 10 分とかからない。360 度の展望を楽しんだあと、周辺散策に出かける。15 時頃に小屋に戻り、テラスで宴会。至福のひとつときである。早めに夕食を済ませ、横になるといつの間にか寝ていた。夜中に目が覚め、トイレのため外にでると、満天の星。見下ろせば下界の夜景がこれもきれいに見える。思ったほど寒くなかった。

翌日。今日は下るだけなので、ゆっくりするつもりだったが、G 氏と S さんがご来光を見たいということで、5 時過ぎに頂上に向かう。頂上でしばらく展望を楽しんでいると甲斐駒の肩から 5 時 30 分に日の出。久しぶりのご来光のような気がする。やっぱり素晴らしい。その右側には塩見岳の後ろに富士山も確認できた。そのあと小屋で朝食を済ませ、7 時に出発。今日は谷コースを下る。途中、避難小屋がある。地獄を慎重に下り、駐車場に 12 時 30 分に到着。菅の台の温泉で汗を流し、佐々木会長に無事下山のメールをし帰路に。高速もさほど混まず、9 時過ぎに帰阪する。この夏は天候に恵まれず散々だったが、今回の山行でいくらかすっきりした。

